

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 21日

事業所名 Kidsプラス 放課後等デイサービス

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------------------------------|---|---|----|---------------|-----|---------|--------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | 5 | 3 | | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | | 2 | 9 | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 7 | 3 | 2 | | |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | 3 | 3 | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | 2 | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 9 | 1 | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 3 | 3 | 3 | | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 2 | 3 | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 9 | 2 | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | 3 | | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 3 | 2 | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 5 | | | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 5 | | | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | 9 | 2 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 1 | 2 | | |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7 | 3 | | | | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 3 | | | |
| 関 係 機 構 | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 1 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 6 | 2 | | | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 7 | 1 | | | |

